

(平成 29 年 6 月試験研究業務月報)

試験研究課題：タスクチーム活動（京たんご梨のあざ果軽減技術の普及）

研 究

## **京たんご梨のあざ発生抑制を期待してカルシウム剤を葉面散布**

今年度からタスクチーム活動<sup>※1</sup>で、「京たんご梨のあざ果軽減技術の普及」に取り組んでいます。

夏期の急激な果実の肥大により、果皮に微少な傷が発生し、その傷を埋めようとコルク<sup>※2</sup>が発達して発生する茶褐色の「あざ」は、外観を損なう要因になっています。

そこで、6月14日に、果皮の細胞壁を強化し、微少な傷が発生しにくくする効果が期待できるカルシウム剤を葉面散布<sup>※3</sup>しました。

葉面散布は、5月中旬、6月中旬、7月中旬の3回行い、収穫時の「あざ」の発生程度を調査し、今後の現地指導に活用していくこととしています。

- ※1 タスクチーム活動…研究機関と普及組織が一体となり、研究成果を現地で速やかに定着させる活動
- ※2 コルク…植物体が傷を受けた部分などに形成される保護組織
- ※3 葉面散布…肥料成分を水に溶かし葉に散布して吸収させる施肥方法



カルシウム剤 500 倍液を葉面散布

農林センター（丹後農業研究所）